

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	14	事業名	地域間交流事業	担当部課	くらし文化部たつせがある課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	3 自治体間連携の推進		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款一 項一 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 交流宣言書(南木曾町)、きづなづくりの誓い(宝塚市)		2-1-9 まちづくり協働費	
	事業開始の背景、経緯等	南木曾町は木曾川の水源地在縁で平成18年に交流宣言書調印を行い、宝塚市は介助犬訓練施設「シシアの丘」が縁で平成24年に覚書「きづなづくりの誓い」を締結し、交流を開始した。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由) —		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 自治体(行政)間の交流を推進する。特に友好提携を結んでいる長野県南木曾町及び兵庫県宝塚市との交流を推進する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民往来数
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 友好提携自治体間でより活発な交流をする。

項目	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
事業費(A)	千円	予算	54	54	59	59	59
		決算	19	23	17	30	
人件費(B)	千円	決算	1,375	2,658	1,749	1,669	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	1,394	2,681	1,766	1,699	
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		—	—	—	—	—
対象あたりコスト(C/D)	千円		—	—	—	—	—

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
自治体間相互訪問交流件数	件	目標	6	6	7	7	7
		実績	6	7	7	7	7
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
両市町と本市との交流の実態を把握するため、行事への参加など、自治体間で行った相互訪問や交流事業及び情報交換した件数を指標とする。			交流を行う自治体担当者と情報共有を行い、目標値を設定した。概ね2年ごとに1つずつの交流件数増加を目標とする。				
(前年までと変更した場合はその理由)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 事業への参加や相互訪問をすることにより、交流の目標件数を達成した。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 新しく連携した市町や交流している市町はないが、友好提携を結んでいる市町との交流は継続して行っている。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 例年の継続事業が中心となっているため、友好都市の相互住民に魅力ある新規交流事業を行う必要がある。

事業を構成する事務事業①	地域間交流事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
		実績						
(2) 【アクションプラン】 自治体間相互訪問及び交流件数	件	見込		4	4	5	5	5
		実績		4				
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> R1実績：4件(市内施設相互利用優待制度、姉妹都市受入事業、ながくて市民まつり参加、文化文政参加)※いずれも南木曾町との交流							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業②	地域間交流事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
		実績						
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	地域間交流事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
		実績						
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】	施設数	見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 例年交流がある南木曾町に関しては、施設相互利用促進だけでなく、市全体で交流が活発になるような新たな事業が実施できないか協議を行う。
中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 毎年交流事業を行っている南木曾町以外の友好都市との今後の交流について、令和5年度までに情報の整理を行い、今後の交流の方向性を決定する。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・行政改革指針に係る「自治体間連携の推進」を踏まえ、引き続き事業に取り組んでください。 ・市民との連携協働の可能性が「有」のため、事務事業での市民参加について模索してください。
内部意見への回答	